

◆発行 公益社団法人東京都助産師会

〒112-0013東京都文京区音羽1-19-18(財)東京都助産師会館2階

TEL:03-5981-3033 FAX:03-5981-3034

<URL><http://www.jmat.jp> <e-mail>info@jmat.jp

- トピックス <比嘉 美貴> 1P
- (公社)東京都助産師会 2023 年度第 1 回定時社員総会報告<岩田 敦子> 2-3P
- 墨田台東地区分会活動報告「プレパパ・パパの子育て講座」<荒 慶子> . . . 4P
- 東京レインボープライド 2023「変わるまで続ける」に参加して<金子 由紀子> 5P
- 2023 年度 賛助個人会員講座 <伊藤 敦美> 6P
- 助産ケアについて語り合おう！助産合宿に参加して<井出 陽子> 7P
- インフォメーション 8P

TOPICS

東京都助産師会のビジョン作成、 進んでいます！

比嘉美貴

妊娠・出産・子育てを悦びに

現在、東京都助産師会では中長期ビジョンを作成しています。前号のサンバ通信 No.39 で紹介されていた通り、この作業はまず、会員皆様のお声を聞くことから始めました。日々の業務の中で見て、感じていることや、私たちはどうあるべきかなど。ディスカッションの場で出たご意見を理事会で熟考、整理し、次のようにまとめました。

【長期ビジョン】

全ての母子とその家族に、適切な助産師の支援が届くことを目指します

【短期ビジョン】

- I：妊娠・出産・育児期の母子とその家族を大事にしたケアの充実
- II：優れた人材の育成
- III：職能団体としての組織強化を図り、社会的認知度の向上に努める

短期ビジョン I～III は長期ビジョンを実現させるための三本の柱です。それぞれに具体的な行動指針を定めませんが、その内容については最終調整中です。

長期ビジョンは見慣れた一文のようですが、現在の日本において意義深いことであると考えています。

昨今、持続可能な開発目標を達成しようと、世界中であらゆる取り組みが実行されています。SDGs の目的は「我々の世界を変革する」ことです。なぜ変革が必要か？もちろん人類のためです。しかし日本は少子化が深刻であり、今後 100 年もしないうちに人口が半減すると予測されています。社会を変革し、持続可能なものにするのと共に、人がいなくなる対策が必要です。

日本の少子化の大きな要因は晩婚化と未婚化であると言われており、その背景として経済状況の低迷等が指摘されています。当然、雇用体制や経済対策などが必須ですが、しかしどんなに条件を整えても、妊娠・出産・子育てが「嫌なもの」だとしたら、そこに踏み込もうとする人は増えるでしょうか。

悠久の歲月、人類は何ら対策をせずとも滅びることなく存続してきました。なぜでしょう。私は人類存続の営み、つまり「性・産・育」には本来「快」や「悦」が付随しているからだと考えます。もし性行為が苦痛なものだとしたら、早々に人類は絶えたでしょう。しかしここに来て、とりわけ「産・育」においては悦よりも負担が語られることが多くなってきました。けれども助産師は「快のあるお産」を知っています。出産時に体験した「快」は数十年も色褪せず、それは育児における「悦」にもつながることを見てきました。「お産は痛い、怖い」のイメージが先行し、「産みたくない。子育てよりキャリアが優先」と考える人が増えている今こそ、助産師のケアが必要ではないでしょうか。

私たちは「子どもを持たない」という選択ももちろん尊重します。ただ、子どもを持ちたいと願っていた人が、産んでみたけど「大変だった」「もう嫌だ」と出産や子育てにおいて傷ついたり、自信をなくしたりすることがないように最大限尽力し、「とても良かった」「もう一人産みたい」という気持ちが自然に湧き出てくるようなケアをしていきたいのです。

「産・育」における「快」や「悦」を取り戻すことは少子社会を脱することにつながっていく。熱い思いをもって、持続的に、「全ての母子とその家族に、適切な助産師の支援」を届けていきましょう。

公益社団法人東京都助産師会 2023 年度第 1 回定時社員総会報告

岩田敦子

2023 年 6 月 17 日（土）13 時から公益社団法人東京都助産師会 2023 年度第 1 回定時社員総会が開催されました。新型コロナが 5 類へと移行し、少しずつ日常が戻りつつありますが、今回も式典は行わずに総会のみ対面で開催しました。宗祥子会長（以下、会長）の挨拶「助産師こそが本当の意味で少子化対策の担い手であり、今その役割に対して社会的に期待が高まっている。今後も異次元の少子化対策、伴走型支援において、自治体との協働により、助産師が行政の事業を担うようになっていく。ぜひ理解し協力してもらいたい」を受け、定時社員総会が始まりました。

司会進行役の専務理事伊藤仁子氏より定款 18 条 2 項に基づき出席社員の中から、議長として板橋知子氏、副議長として一ノ瀬浩美氏、岩佐一恵氏の推薦があり異議なく選出された。議長の板橋氏より 2023 年度定時社員総会の開会が宣言された。社員総数 1117 名、出席社員総数（委任状を含む）662 名で、本総会で提出する議案を審議するのに必要な定足数（定款 19 条 1 項：過半数）は満たしていることが報告された。監事の今村理恵子氏より本日の定時社員総会に提出されたすべての議案および書類を調査したところ、いずれも法令および定款に適合しており、不当な事項はないと認めたことの監査結果の報告がされた。

報告事項 1 2022 年度（令和 4 年度）事業報告の件（定款 43 条 2 項）

会長より、2022 年度（令和 4 年度）事業について資料に基づいて報告された。当会インターネットウェブサイト会員ページで公開されており、焦点化して報告があった内容は以下のとおりである。（総会資料 1～9 頁参照）

1. 2022 年度（令和 4 年度）東京都助産師会定時社員総会の報告

2022 年度（令和 4 年度）定時社員総会は、2022 年

6 月 18 日（土）に公益財団法人東京都助産師会館講堂において開催され、審議された内容は全て承認された。

2. 理事会・運営会議・地区分会長会議の報告

2022 年度も新型コロナウイルス感染症のため、すべての会議をオンラインで行った。前年度に引き続き新型コロナ関連の東京都からの委託事業が実施され、本会にとって大きな活動であった。また、2022 年度は東京都助産師会の中長期ビジョンを決定したことが大きな成果である。

理事会は 8 回開催した。第 5 回理事会では 2023 年度の活動計画について、第 6 回理事会では 2022 年度の活動報告と予算決算の承認を行った。地区分会長会議は 5 回開催し、理事会報告、地区分会の活動報告などが行われた。

3. 専門部会、委員会の報告

資料に基づき、宗会長より順次報告された。助産所部会はオンライン開催としたことで出席率がよかった。一方で対面での研修会を開催した。施設勤務部会は会員の交流やモチベーションの強化を図るための研修会、またキャリアアップ研修会を今年度実施していく予定である。保健指導部会では、会員の連絡が取りにくいことが今後の検討事項である。また独自のアンケートを行い調査結果の報告を行った。インボイスについての説明会を行っている。

委員会報告では、総務総括は表彰者の選定。広報委員会は年々その役割が大きくなり、母子だけでなく、その家族、さらに社会へ幅広い発信の必要性を感じている。今年度は助産師の所在や活動内容が見えるように助産師マップの検討を行う。政策提言委員会は、活動により具体的に政策が実現している。教育委員会は東京都委託講習会の 2022 年度のプログラムを作成し運営を行った。いのちの教育委員会ではエドゥケーターの育成。東京都助産師会の要望の一つである、東京都のすべての小中高にいのちの教育を届ける包括的性教育を行いたいと考えている。医療安全対策室は助産業務安全対策委員会と合同で活動しており、助産所部会だけでなく保健指導部会の問題も取り扱っている。昨年度はインシデントア

クシデントレポート提出の準備を行い、書き方についての勉強会も行った。災害対策委員会では、各地区分会に 1～2 名の災害対策担当者を新設したことで委員会との連携がしやすくなった。産後ケア推進特別委員会は地域における助産師による産後ケア事業の質の維持のための評価を集積していくための評価表の妥当性、信頼性を図るため、調査票を配布し現在分析中。最終的な目標としては、助産師のケアが大切だということを世に知らしめていくこととしている。

子育て女性健康支援センターの電話相談 135 件、いよいよお産の日のイベントをリアル開催も含め実施。オンライン助産師相談 1296 件。コロナ陽性妊産婦の寄り添い型支援は依頼なし、コロナ陽性妊産婦自宅療養健康観察事業は延べ 23,754 日の健康観察を行った。この協力により東京都福祉局で助産師の役割は非常に高く評価された。YouTube チャンネルの動画投稿の実施。配信動画数 105 本、チャンネル登録者 7190 人。

報告事項 2 2023 年度事業計画及び収支予算報告の件

1. 2023 年度事業計画（総会資料 10～14 頁参照）

会長の宗祥子より 2023 年度の事業方針、事業計画について報告された。これを踏まえ、東京都に今年度の事業方針を提示し、公益社団法人として事業として挙げているものに基づいて、事業毎に計画を挙げている。詳細は資料で確認して頂きたい。

自治体から委託事業を受けることは、助産師の役割の重要性が地域で認識され、また利用者の負担を少なくケアを提供することができるので、どんどん受けていてもらいたい。その際には事務経費を確保してほしい。そして各地区分会が東京都助産師会として事業を契約する場合には、事務経費を納めてもらいたい。2023 年度は南北関東地区の研修会の企画運営を東京都助産師会が行う。日本助産学会の学術集会とコラボするのでぜひ参加してほしい。各専門部会の事業計画は、資料で確認していただきたい。今年度は、助産師会の活動をボランティアでやっている方々に、必要経費を支払うことが課題だと感じている。また、助産師マップの制作を行い、活用

できるようにしていく。

会場より、委託事業の会計処理に苦勞していると意見が出された。それに対し宗会長より、会計担当者を専門職に依頼すること、事務経費や運営費を加味した請求をしていくことをアドバイスされた。

また、助産師が妊娠中から関わられるようにしたいという意見に対し、伴走型支援に助産師が関わっている北区助産師会より、これまでの経過や現状について情報提供された。

2. 2023 年度収支予算について

財務理事の横川氏より資料に基づいて説明された。経常収益計 70,120,855 円、経常費用 69,599,430 円 正味財産増加 451,425 円と報告された。昨年度の予算と比較し経常収益、経常費用ともに 12,000,000 円ほどの増額がみられている。これは 26 地区分会から上がってきた委託事業費が昨年度と比較すると 16,000,000 円ほどの収益となっていること、また 26 地区分会への助産師出勤費、助産師報酬が 12,000,000 円の支出増加となっている分である。

決議事項

1. 第 1 号議案 2022 年度決算（計算書類）報告 承認の件（別紙 令和 4 年度 決算報告書案 参照）

財務理事の横川氏より資料に基づいて説明された。当期一般正味財産増減額が 7,450,032 円減となった。昨年度より支出増となっているがこれは令和 3 年より開始した東京都委託事業の助産師出勤費、通信運搬費、消耗品費の支出となっている。

議長は第 1 号議案について採決を行い、賛成多数で原案どおり承認された。

議長は、以上をもってすべての議案の審議を終了した旨を告げ、閉会を宣言した。

墨田台東地区分会活動報告 「プレパパ・パパの子育て講座」

墨田台東地区分会会長 荒 慶子



育児への自信がつく！
男性の仲間作りにも貢献

の講座を実施しました。出生後講座は、助産師による個別相談や子どもの発達や成長に合わせた小講座を行い、男性同士が育児・仕事・家庭に関する悩みを共有する場を作り、父親ネットワーク（ピアサポート）作りにつながるよう取り組みました。

(2) 子育てつながり隊 父さんネットワーク

父親ネットワークとしてメールマガジンに登録し、配信を行いました。メールマガジンを使用して、主に子育てや地域活動関連の情報を月1回配信しました。

(3) はばたきフォーラムへの参加

プレパパ・パパの子育て講座を父親同士の交流の場として広く周知するため、はばたきフォーラムにパネル展で参加しました。

●事業実施して

まず、助産師からリアルな情報を得て、子育て・家庭・仕事などへの環境の変化を知り、育児休業を考えるきっかけとなりました。また疑似体験を通して、育児への自信が付き色々な場所へ子どもと一緒に出席することができるようになりました。

次に、男性は仲間作りが上手ではない人が多いようですが、男性ならではの悩みや疑問を共有できる場に来て話すことで小単位のつながりは出来たようです。そして、他の子育て関連団体との連携・強化にもつながりました。

●今後に向けて

男性が積極的に家事や子育てに参画するためには、家庭・仕事・子育てについて考え、男性ならではの子育ての疑問や悩みを相談できる場の確保が必要です。医療機関、区の関係機関や他の子育て関連団体と協力するとともに、助産師は妊娠・出産・育児についての情報提供を行い地域の母子とその家族を今後もサポートしたいと思います。



東京レインボープライド2023 「変わるまで続ける」に参加して

金子 由紀子

親しい人に気持ちをこめて、本や花を贈り合うスペイン、カタルーニャ地方の伝統「サン・ジョルディの日」である4月23日、私たちは代々木公園渋谷門階段下に集合した。生と性の多様性を祝福するため、東京都助産師会内外の助産師と看護師、にじいろドクターズ、にじいろリハネットを始めとする他団体に所属する賛同者や家族らが集結した。参加した40梯団中、唯一の医療従事者団体でもあり、今年は助産師会ののぼり旗を作成し挑んだ！何より大きな成果は、去年この会場で交流ができた前記のにじいろドクターズの参加もあったことから、総人数200人規模のお仲間と一緒に歩けた本格的な実りあるパレードとなったことである。顔合わせ後、参加者は各々フラッグやプラカードを手にし、代々木公園を出発し公園通り、神南一丁目交差点左折、神宮前六丁目交差点から明治通りへ入り、神宮前交差点から神宮橋交差を通過し代々木公園へ戻るコースを約1時間20分ほど練り歩いた。日曜日のこの日はお天気にも恵まれ、「自分らしく生きていこう」と叫ぶ私たちに沿道からも多くの声が掛かり、同伴した助産師仲間である友人の16歳の子が「みんなフレンドリーで楽しかったよ。みんなが笑顔でハッピーだったね」と言っていた通り、親しみをもち気持ちを込めて「Happy pride」を贈り合っていた。

私にとって昨年の初参加に続き2回目の参加であった。2022年の当時、看護教員をしていた私は、講義のなかで看護学生に性のマイノリティ、セクシュアリティについて語っていても、学生の反応は薄く説得力



に欠けていると自己反省ばかりであった。偶々タイミングよく、東京都助産師会の2022年レインボーパレード参加者募集を目にした。さらには、新型コロナ禍の影響から1団体10名と限定されており、競争率が激しく先着順だろうと勝手な自己解釈から、(募集案内を)目にしたその場で考えなしに申し込みをしてしまった。正直、申込後は参加者に自分の知っている人が誰もいないのだと不安が膨らみ後悔し、初参加当日までは、行こうが行くまいか悩み続けた。しかし、助産師チーム10人が10色のスクラブを着て参加した一体感を味わえ、充実感いっぱいの2022年Pride・パレードであった。かつ、この大胆な行動があったからこそ団体代表でもあり、調布LGBT & アライの会代表でもある榎木さんとお知り合いになれば、教員を退職後の今年もパレードに参加でき結果オーライであったことになる。今思えば、仕事柄ではなく自分自身が性の多様性を理解できる場を求めていたように思う。

性=心で生きると書く。自分らしく生きることがセクシュアリティならば、100人個々のPrideであると理解できた。そして、このライブ感で興奮する体験は、また味わいたいと思いのなる中毒性があるようだ。きっと来年も代々木公園に七色のフラッグを持ち集合していることでしょう。



2023年度 賛助個人会員講座 「子育ての輪」

広報委員 伊藤敦美

東京都助産師会は、一般の方を対象に賛助個人会員制度を設けています。

当会の活動にご賛同いただける個人の方を対象に賛助個人会員活動は、社会で性と生殖に関する健康と権利の尊重・普及・活動を助産師とともに考え、協同することを目的にしています。

会員特典は

- 東京都助産師会が開催する一般向け講習会に会員価格で参加出来ます
- 助産師と交流ができ、イベントの共同企画を行うことが出来ます

この活動は、広報委員会が運営しています。

賛助個人会員講座「子育ての輪」は、昨年はオンラインまたはオンラインと対面のハイブリットで開催し、たくさんの方が講座に参加されました。

好評を受け、今年も全10回の講座を企画しました。

- 6月 女性のための冷え対策講座（終了）
- 7月 妊娠中のからだところのつくり方（終了）
- 8月 服の上からベビーマッサージ
- 9月 あそびから学ぶ赤ちゃんの成長と発達
- 10月 赤ちゃんごはんの会
- 11月 パパの育休取得！制度の紹介と実際のシェア会
- 12月 赤ちゃん防災
- 1月 子どもの体質に合わせた子育てのヒント
- 2月 仕事復帰と卒乳の話
- 3月 出産の振り返りの会～交流会～

この一般向け講習会は、妊娠中・産後の母親、その家族だけでなく、子育て支援者の方も参加出来ます。もちろん、会員の助産師も参加することができます。会員以外の方も、講習会に参加することができますが（単発参加 2,000円 / 回）、会員の方が断然お得です！

2023 東京都助産師会 賛助個人会員講座

東京都助産師会では、助産師の活動を応援し、一緒に盛り上げてくれる賛助個人会員を募集しています！

○年会10回開催する講座がオンラインは無料で聴講でき、対面では特典割引が適用！（非会員も方々以下の講座を ¥2,000/回で受講できます）
○当会助産師と個人会員の交流
○当会助産師との共同で実施活動 執筆 など

対面・オンライン オンライン

6/23 10:30~11:30 女性のための冷え対策講座 助産師・鍼灸師 奥山 麻理	7/28 10:30~11:30 妊娠中のからだところのつくり方 助産師 吉田 樹里	8/23 14:00~15:30 服の上からベビーマッサージ @松が丘助産院 アロマセラピスト 大山 カオル	9/22 10:30~11:30 あそびから学ぶ 赤ちゃんの成長と発達 保育士 吉岡 晴緒
10/17 11:00~12:00 金曜ランチ～12:00 赤ちゃんごはんの会 @松が丘助産院 助産師 吉川 万貴子	11/7 10:30~11:30 パパの育休取得！制度の紹介と実際のシェア会 助産師 武田 雅子	12/2 13:30~14:30 赤ちゃん防災 助産師 荒 慶子	1/25 10:30~11:30 ～アークウェーダの理論から～ 子どもの体質にあわせた 子育てのヒント 助産師 大久保 久美子

お問い合わせ先
(公) 東京都助産師会 広報委員会
MAIL: tokyo.mxs.sanjo@gmail.com
会員様以外の聴講については、
¥3,000の年会費をお支払いいただかなくても、単発でのご参加（¥2,000/回）が可能です。お申し込みは上記QRコードよりご希望の講座のお申し込みフォームからお申し込みください

○6月開催「女性のための冷え対策講座」の様子

助産師・鍼灸師の奥山麻里さんが、オンラインで講座を担当してくださいました。

参加者の方々から

- ・お灸でのセルフケアについては学んだことがなかった
- ・なので、基本のお話が同僚ととても参考になりました。
- ・冷え対策の一つの方法として、手軽なお灸の方法を初心者向けにわかりやすかった

という感想をいただきました。助産師からじっくり話を聞いたり、他のママとお喋りをする貴重な機会となります！助産師会員の皆さま、妊娠中や産後の方、子育て支援者の方々へ是非この賛助個人会員向け講座『子育ての輪』のご紹介をお願い致します。助産師会事務局にチラシの在庫もございます。ご入用の方は、助産師会事務局へご連絡をお願い致します。

また、賛助個人会員の申し込みは便利なクレジット決済も出来るようになっております。お申込みはチラシのQRコードを読み込んでいただき、ご希望の講座のお申込フォームからお申込みください。

松が丘助産院

助産ケアについて語り合おう！ 助産合宿に参加して

足立葛飾地区分会 井出陽子



その後、宗院長に楽健法を教えてくださいました。楽健法とは足を使って相手の足や手を踏む健康法です。お互いペアになって実際にやってみるところ、とても身体が楽になり、やる方も足の裏に刺激を感じることで体の調子がよくなります。助産師同士でお互いいたわりながらやったのも良かったですし、意外と自分の体も凝っていたり疲れていたりして、自分の体の声を聞くいい機会にもなりました。ぜひ仕事場でも活かしてみたいと感じました。

助産院内部の見学もさせていただきました。細部に至るまで宗院長のこだわりが感じられ、ママがここに来たらとても落ち着くだろうと思ったのと、どんなママも赤ちゃんもまるごと受け入れてもらえそうな安心感がありました。ママが出産時や産後に大切にされた経験をすることで、育児にも良い影響を及ぼします。助産院に限らず、ママを大切にケアする事の精神は助産師全員が持ってないといけないものだと思います。ちょうど助産院スタッフの方がご出産されて、入院していたのでお話を聞けたのも良いタイミングでした。

全国的に今や助産院で出産する方は少なく、産後ケアも事業として採算が取れないと言われますが、この合宿を通して助産師にはやるべき事がまだまだあり、その為に努力しなければという決意を新たにしました。このような機会をくださいました松が丘助産院院長の宗先生とスタッフの皆様、合宿参加の皆様にご感謝申し上げます。

2022年12月10日～11日に開催された松が丘助産院の助産院合宿の報告をさせていただきます。松が丘助産院は中野区内にあり、院長は東京都助産師会会長の宗祥子先生です。合宿は助産院に泊まる1泊2日コース参加と1日だけの参加のコースがあり、私は1日だけのコースに参加しました。

今回参加した動機ですが、私は葛飾区でそれまで出張開業という形で乳房ケアをやっており、施設開業に切り替え、産後ケアもやりたいと思っていた事あって、勉強させていただきたいと思い参加の申し込みをしました。

まずは前日から1泊で参加された皆さんと一緒に交流会から始まりました。参加者は開業助産師、病院勤務、大学の教員、大学院の学生、海外在住経験のある方など経歴も様々で自己紹介を1週間いてるだけで勉強になる程。交流会の内容は主に今自分がやっている仕事や、これからの展望・やりたい事、妊婦さんや産後のママたちが置かれている課題、産後ケアの事など内容は多岐に渡りました。

中でも産後ケアに関しては皆さんの関心も高く、ただやはり業務に見合った料金をいただけなかったり、自治体の補助がなかったりでどこも苦労している話が出ていました。それでも皆さんの熱意は素晴らしく、助産師全体で頑張っていかなければという思いにもなり、交流会だけでも多めに学び、刺激にもなりました。



1. 表彰者（表彰の正式名称、受賞者氏名 敬称略）

永年活動感謝状

田中幾子（世田谷区）、山村節子（世田谷区）

公益社団法人 日本助産師会 会長表彰 5名

板橋知子（江戸川区）、今村理恵子（西多摩）

今宮昇子（江戸川区）、鈴木享子（豊島区）

田邊知美（府中市）

2. 物故会員（氏名、享年）

廣瀬 綾子（元日本助産師会東京都支部長）

享年 93 歳

3. 会員数

R5.6.15 現在 1129 名（会費未納者、今期退会者を含む）

4. 今後のセミナー・イベント予定

●東京都委託助産師教育指導講習会

今期は9月、11月、12月、2月に開催予定。

今回は開催講習会ごとに日時が異なります！参加の際は確認の上お申し込みください。

また詳細についてはHPをご覧ください。

申込は東京都助産師会 [Coubichttps://coubic.com/jmat](https://coubic.com/jmat) 内より受付。

5. 事務所の夏期休業について

8月10日（木）から8月17日（木）まで事務は夏期休業させていただきます。メール・FAXは24時

間受信可能ですが返信につきましては8月18日（金）以降順次ご連絡とさせていただきますのでご了承ください。

6. ◎年会費の自動引落手続きについて

年会費のお支払いは、指定口座からの自動引落による会費納入が、原則となっております。お手続きがまだの方は、東京都助産師会もしくは日本助産師会までお問い合わせください。口座引落依頼書をお渡しします。今からお手続きされますと令和6年度の会費より自動引落となります。

◎年会費のお支払いがまだの方は、下記にお振込み願います。

※正会員（一般）25000円（内訳：本部会費15000円東京都助産師会会費10000円）

郵便口座

◎ 00170-7-484988

公益社団法人東京都助産師会

※他銀行からお振込みの場合 ゆうちょ銀行 〇一九（ぜろいちきゅう）店 当座 0484988

銀行口座

◎三井住友銀行 大塚支店 普通 1986476

公益社団法人 東京都助産師会

◎三菱UFJ銀行 江戸川橋支店 普通 0031243

公益社団法人 東京都助産師会 代表理事 宗 尚子

また、住所・職場、改姓等変更がございましたら、必ず日本助産師会の会員ページより会員情報変更フォームより手続きをお願いいたします。所属地区分会の変更も日本助産師会のマイページより変更できます！

編集後記

私事ですが、ようやく今年長男が小学生になりました。広報委員会の会議にも生後数か月からほぼ毎回参加し、委員の皆さんに可愛がってもらっています。有難いことです。現在会議はオンラインですが、さすがに小学生ともなると会議中の画面にもあまり寄ってこなくなりました。代わりに妹が画面の前と私の膝上を陣取っています。ふとしたところで徐々に親離れしていく長男の成長を感じる今日この頃です。（齋藤）

もし1人である時に陣痛が起ったら…

もし深夜に陣痛が起きたら…



そんな心細いときのために
マタニティマイタクシー
にご登録ください。

マタニティマイタクシー
お問合せはこちらへ

kmマタニティマイタクシー（平日9:00～17:30）
03-5520-5690

無料
会員登録はWEBで

kmタクシーオフィシャルWEBサイト
マタニティマイタクシー 検索



国際自動車株式会社

国内最大級 / 100万会員
子育て情報マッチングメディア

妊娠～子育て中のママパパに嬉しい情報をお届けします。さらに無料で参加できるプレゼントキャンペーンも豊富です♪

<https://feature.cozre.jp/campaign/present>